

スーパーテレメータ シリーズ

テレコンポーネントライブラリ

主な機能と特長

- 遠隔地に設置された信号監視装置(形式:TLX、TLX1、TL4-LX1、TLZ、TLZ1)に記録されているデータを一般公衆回線を利用して、パソコン上にWindowsデータとして取込むためのコンポーネントライブラリ・ソフト
- Visual Basicで作成するWindowsアプリケーションにおいてデータの取得が可能
- 取得したデータは、テキスト形式のデータファイルとして保存するため、直接EXCELなどに取込むことも可能

形式:TLCOM-S

価格

基本価格 35,000円

ご注文時指定事項

・形式コード:TLCOM-S

回線

S:一般公衆回線

機能の概要

■概要

TLCOMライブラリは、Visual Basicでの使用が可能で、スーパーテレメータシリーズ(形式:TLX、TLX1、TL4-LX1、TLZ、TLZ1)および、えむとーく(形式:TLM)との通信機能を提供し、ユーザアプリケーション開発工数の軽減を目的としています。下記のメソッドを持ちます。

■メソッド一覧

TLCOMライブラリは、スーパーテレメータシリーズ(形式:TLX、TLX1、TL4-LX1、TLZ、TLZ1)および、えむとーく(形式:TLM)との通信を実現するために、次の表に示すメソッドを提供します。

●共通パラメータの説明

各メソッドのパラメータ(TLXZ_init、TLXZ_termを除く)にあるポート番号は、0から4の値をとり、0=COM1、1=COM2、2=COM3、4=COM5を意味します。

メソッド名のTLXZ_、TLM_は対象機器を表します。

メソッド名	機能概要
TLXZ_init	通信を行うためのスレッドを起動します。
TLXZ_term	通信を行うためのスレッドを終了させます。
TLXZ_open	通信ポートの初期化とモデムの初期化を行います。
TLXZ_close	通信ポートの解放を行います。
TLXZ_stat	通信ポートの状態と、通報件数の取得を行います。
TLXZ_rep_get	通報データの取得を行います。
TLXZ_connect	テレロガーに電話をかけます。
TLXZ_disconnect	テレロガーとの通話を終了します。
TLXZ_req	テレロガーから各種データの取得を行います。
TLM_stat	通信ポートの状態と、直前依頼終了コード取得を行います。
TLM_req	えむとーくに通報依頼を行います。

関連機器

- ・テレロガー(形式:TLX、TLX1、TL4-LX1)
- ・メモリテレカブラ(形式:TLZ)
- ・メモリテレカブラ(形式:TLZ1)
- ・えむとーく(形式:TLM)

製品構成

- ・CD 1枚(ソフトウェア、取扱説明書)

必要システム(お客様ご用意)

パソコン本体:Microsoft Windows 98、Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0 Service Pack 3 以上、Windows Vista 32bit版またはWindows 7 Professional 32 bit版を搭載しているIBM PC/ATまたは互換機
Pentium 133MHz以上
RAM 32MB以上(Windows 98)
64 MB以上(Windows NT 4.0)

注)全ての環境での動作を保証するものではありません。

ディスクドライブ:WindowsがサポートするCDドライブ1基とハードディスクドライブ1基

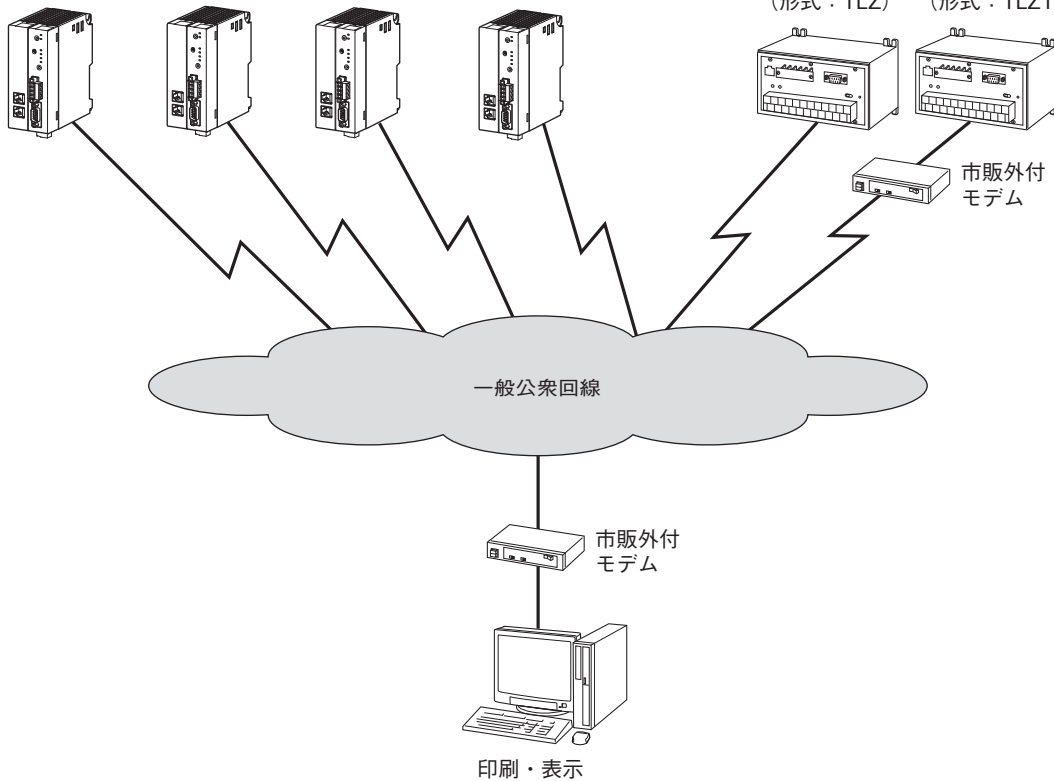
ビデオ:SVGA以上の互換ディスプレイ

前提ソフトウェア:Microsoft Visual Studio 6.0、Service Pack 5以上またはMicrosoft Visual Basic 6.0、Service Pack 5 以上

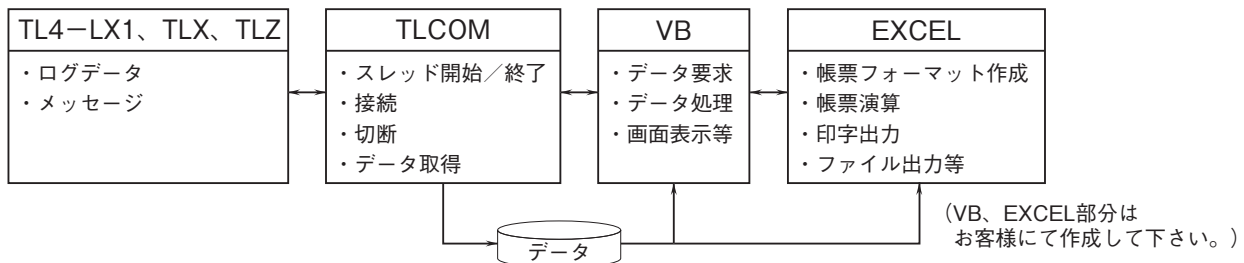
システム構成例

テレロガー
形式：TL4-LX1、TLX、TLX1

メモリテレカプラ
(形式：TLZ) (形式：TLZ1)



■パソコン上のソフトウェア構成



- 記載内容はお断りなしに変更することがありますのでご了承下さい。
 - ご注文・ご使用に際しては、弊社ホームページの「ご注文に際して」を必ずご確認ください。
 - 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制をご確認の上、必要な手続きをお取り下さい。
- 安全保障貿易管理については、弊社ホームページより「輸出（該非判定）」をご覧ください。
- お問い合わせ先 ホットライン：0120-18-6321